

## テクノロジスト育成塾 第7回情報交換会

平成23年9月14日

## 「開会のご挨拶」

テクノロジストコンサルティング株式会社  
代表取締役社長 テクノロジスト  
黒岩 暎一

皆様、今晚は・・・テクノロジストの黒岩でございます。いつもお世話になりありがとうございます。本席をかりまして御礼申し上げます。

また本日は、ご多忙にもかかわらず第7回情報交換会フォローアップ研修に多数、ご出席を頂きありがとうございます。

**前回の第6回は3月9日に開催**、その2日後に東日本大震災が発生しました。被災された方々には改めてお見舞い申し上げます。

津波のもの凄さ、災害の怖さを思い知らされました。

同時に私にとっては「知らない事がたくさんあった」ことを知ることになりました。

- ・ 日本の原発立地の怖さ、ドイツが直ぐに原発廃止をきめたすばやさ、
- ・ 早いと言え、外国人労働者の存在と日本脱出の早さ
- ・ 東北の部品工場停止によるグローバルサプライチェーン切断。世界規模の生産の停滞・・・などなどです。

**また、初めての体験もしました。**

- ・ 計画停電・・・私は鎌倉が自宅ですが何度も停電しました。  
まだ夕方なのに真っ暗な商店街。光の無い不気味さを知りました。
- ・ 9月9日に解除された電力使用制限令  
－各社ではそれに対応するため土日出勤して、木、金を休む輪番休日、あるいはオフィスフロア、打ち合わせ室の大幅削減などを実施されていました。

**本日ご出席をいただいております**、保険会社の方々は査定、保険金支払いのために千人を超える規模で現地に赴かれる活動を直ちに実施、いまなお大勢の方々が従事されているとお聞きしています。

まだまだ取り組むべき課題も多数残っていますし、復興もまだら模様の感もありますが、何よりも「負けない、立ち向かう」気持ちのほうは通常に戻りつつあるのではと感じております。

今年もうひとつ別の波(WE Bグランズウエル)が世界各地でおきました。チュニジア、エジプト、シリアの革命にSNSが大きな力を発揮したのは皆様ご存知の通りです。今年5月のシンガポール総選挙では、法律を改正してソーシャルメディアが解禁になりました。来年の米国大統領選挙でもソーシャルメディアが大いに活用、活躍されと喧伝されてます。

弊社テクノロジスト育成塾ではこのWE Bの波を第6の権力と名付けています。

第1, 2, 3の権力：立法、行政、司法の3権

第4の権力：マスメディア (ペンは剣より強し)

第5の権力：欧米のシンクタンク (大統領、世界を動かす影の力)

第6の権力：WE B (WE Bはペンより強し)

<WE Bグランズウエル>は4つのことを教えています。

- ①個人が繋がることにより巨大組織・権力と戦えて勝利する事ができること。
- ②個人のトラフィックがビジネスの世界では「金」になること。
- ③双方向という技術・社会インフラができた時代になっていること。
- ④一過性のトレンドではなく、不可逆な社会変化であること。

一方、日本の大手企業ではまだまだSNSなどを十分に活用できていないとの意見がBA研修、システムコンサルタント研修での受講生から出てきています。

従来型の情報セキュリティ、コンプライアンス、ガバナンスとの関係が上手く整理できていない事がひとつの要因であり、WE B企画についてはIT企画に比べて方針、体制が明確にできていないことも大きいとのこと。

エザキダイオードでノーベル賞をもらった江崎玲於奈博士は「真空管をいくら追及、研究してもトランジスターは生まれなかった」といわれています。

WE Bはシステム活用の世界でのトランジスターではないでしょうか？

本日のこの情報交換会でも話題にされる価値があるテーマとっております。

お陰様でテクノロジスト育成塾の受講者は累計329名、累計参加企業は79社になりました。いろいろな分野でご活躍されているとお聞きしています。

本日は、受講生が68名、受講生以外の関係各社より70名のご出席を頂いております。そして育成塾での特別講師を御願ひしています

① 日本トラスティサービス信託銀行 奥野副社長

② 三菱東京UFJ銀行 村林常務執行役員 を含めて全体で

150名近いご参加を頂いております。

この会の目的は、フォローアップ研修として<縁に出会って縁を活かす>を  
実践して頂くことです。

特に、若手の受講生に経営の方々との交流、情報交換をして頂ければと願って  
おります。

また、10番テーブルを中心に人材育成のご担当者がおられます。次世代の人  
材育成の情報交換をして頂ければと思います。

さて、本日の特別講演は三井住友銀行のC I O、湊崎常務に御願いしました。  
(湊崎様、ご多忙にもかかわらずお引き受けをいただきありがとうございます)  
湊崎様は皆様よくご存知のように長年、システムの世界でご活躍をされておられ  
ます。今や日本を代表する一流のC I Oのおひとりかと思えます。

どのようなお話をいただけるのか私も皆様と同様に楽しみにしている次第です。

最後にもう一度、よいご縁を作られ、良い交流をしていただけますよう御願致  
しまして私からのご挨拶とさせていただきます。

ご静聴、ありがとうございました。

(以上)